（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	か～た			
○保護者評価実施期間	令和8年2月6日		～	令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	30	（回答者数）	21
○従業者評価実施期間	令和8年2月6日		～	令和8年2月19日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な体験活動	おもてなしか～たCAFÉやおあけやしき、ふれあい文化祭作品作りやか～たWORKSでの「はたらく」の取り組みなど、実際に体験してみること→振り返りに取り組んでいます。	各活動のねらいをしっかりともちながら、一人ひとりが経験を積み重ねられるよう取り組みます。また、こども達が主体的に取り組めるようサポートしながら活動し、安心して失敗もできる環境作りも行います。
2	個別支援計画を基にしたPDCAサイクルの取り組みの充実 ・アセスメント ・ニーズや移行の把握 ・計画策定 。支援 。評価	本人の振り返りシートの活用したり、意向については話しやすい環境を作るために本人と保護者とは別の機会を設定しています。 担当スタッフがアセスメントや評価にもしっかりと関わり、より具体的な内容の計画を立てることができるようにしています。	本人が主体的に個別支援計画（応援シート）に関わって取り組めるよう今後も必要な工夫について検討します。 計画が置き去りにならないよう、本人や保護者、スタッフが振り返りながら取り組みます。
3	地域づくりへの参画	教育と福祉の連携について丁寧に取り組んでいます。 日頃から気になることの共有や下校についての連絡調整など、必要に講じて行っています。	協議会に参画しながら教育と福祉の連携に取り組み、個別支援計画とつなぎ愛シート、サービス等利用計画の共有・連携・連動に向けて取り組みます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援に対する取り組み	保護者からの相談があれば助言等も含めて相談支援を行っていますが、相談窓口や機会等についてのご案内を丁寧に行えていない状況です。また気になる段階で連絡させていただき、お話をさせていただいておりますが、それまでの連絡、情報共有の機会が少ないです。	相談窓口や機会について分かりやすくお伝えします。 気になる段階になる前の連絡、情報共有の機会を増やし気軽に情報共有や相談ができる環境を整えます。
2	事業所の取り組み内容の発信	おたより（か～たLIVING）で取り組み内容を報告をさせていただいており、昨年度の課題について一部改善はできている。 非常災害時の訓練や構造化や見える化などの支援内容についてなど、行ってはいるものの取り組んでいる内容が保護者等に伝わっていないことがある。	おたよりを定期的に発行し、事業所の取り組み内容を活動報告だけでなく幅広い内容を発信していく。
3	支援の質の向上	事業所の弱みということではないが、支援スキルについてや放課後等デイサービスガイドラインに添ったまないなど、支援の質の向上に向けての取り組みあ必要であると考えています。	引き続き外部研修や法人内研修、オンデマンド研修や事業所内での学習会など年間予定をたてて取り組みます。 またスタッフのメンタルヘルスも大事にしながら、スタッフの振り返りの機会も導入し、チーム支援の視点で取り組みます。